

News Release

2022年10月20日

この資料は、BASFが2022年10月11日に中国および香港で発表した英語のプレスリリースを、BASFジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、中国・湛江の新たなフェアブント(統合生産拠点)にネオペンチルグリコール工場を建設

- 世界最大の化学市場である中国での需要拡大に対応
- 多くの応用分野を持ち汎用性の高い化学中間体の、粉体塗料市場の地域的な需要に特化

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、中国の広東省湛江市(タンコウ市)の新たなフェアブント(統合生産拠点)に、年産能力 8 万トンの世界最大級のネオペンチルグリコール(NPG)工場を新設します。2025 年第 4 四半期に稼働予定の新 NPG 工場によって、BASF は世界における NPG 生産能力を年間 255,000 トンから 335,000 トンに増強し、世界有数の NPG メーカーとしての地位を強化します。現在、BASF は、ドイツのルートヴィッヒスハーフェン、米国のテキサス州フリーポート、中国の江蘇省南京市と吉林省吉林市に NPG の生産施設を保有しています。

BASF 中間体事業本部アジア太平洋地域のシニア・バイスプレジデントである、ヴァシリオス・ガラノスは、次のように述べています。「湛江のフェアブントに NPG 工場を建設することで、アジアのお客様、特に中国の粉体塗料分野のお客様からの需要に対応できるようになります。当社独自のフェアブントモデルと最高水準の技術から生まれる相乗効果を活用することで、今回の NPG 工場への投資が、世界最大の化学市場である中国での、当社の競争力を高めることを確信しています。」

BASF 中間体事業本部アジア太平洋地域、酸および多価アルコール類部門のビジネス マネジメント担当ディレクターであるアヌープ・パンディは、次のように述べています。「私たちは、環境にやさしい粉体塗料に対する中国での需要の高まりに応じていきます。新工場の建設を進め、ビジネスパートナーの成長をサポートするとともに、中国という広大な市場において当社の拠点を拡大し、リーディングサプライヤーとしての地位を維持していきます。」

NPG は高い化学的安定性および熱安定性から、主に粉体塗料用樹脂の製造に使用される中間体です。粉体塗料は、特に建設産業や家電製品の塗料において成功を収めています。粉体塗料は揮発性有機化合物(VOC)の含有量が少ないため、液体塗料に比べて VOC 排出量を最大 50%削減でき、VOC 排出規制の遵守を可能にします。NPG はこのほか、潤滑油、可塑剤、医薬品の製造などに使用されています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF の中間体事業本部について

BASF の中間体事業は、中間体の開発から製造販売までを行っており、約 600 種類もの中間体からなる包括的なポートフォリオを世界展開しています。提供製品のなかで特に重要性が高いのは、アミン類、ジオール類、多価アルコール類、有機酸類、スペシヤリティ製品などです。中間体は、塗料やプラスチック、医薬品、繊維、洗剤、農薬の原料として使用されており、BASF の革新的な製品は、最終製品の特性の改善および、生産プロセスの効率性向上に役立てられています。BASF の中間体事業は ISO 9001 認証を取得し、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに生産拠点を展開しています。2021 年の世界での売上高は約 39 億ユーロです。詳細については、www.intermediates.basf.com (英語)をご覧ください。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で約 110,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション & ケア、アグロソリューション)から成ります。2021 年の BASF の売上高は 786 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com> をご覧ください。